



発行  
 江戸川区立  
 瑞江第二中学校  
 校長 滝澤 清豪  
 発行日7月18日  
 東京都江戸川区  
 瑞江4-54-1

### 1学期終業式 (7月18日)

まもなく夏季休業を迎えます。皆さんは期待と喜び一杯ではないでしょうか。3年生は夏期講習などに行く人もいるでしょうから、

楽しいな夏季休業ではないかもしれませんがね。今日は1学期終業式です。夏季休業を前に、私から皆さんに伝えたい大切なことがあります。それは、「目標なき取組は、成就しない」という言葉に込められた意味です。

本校では、長期休業中に基本的に宿題を課していません。この方針は、単に皆さんが勉強から解放されることを意図しているわけではなく、むしろ、皆さん一人ひとりが「自ら計画を立て、自分自身のやりたいことを追求する」という、より深い教育的意図に基づいています。自律的な学習を促す上で、自ら目標を設定し、自己決定する機会を増やすことは極めて重要であると考えられます。

この期間は、皆さんが自らの「学びをデザイン」し、「主体的に行動する力を育むため」の重要な機会となるわけです。学校が皆さんに「自由」を与えるのは、その自由を「無為な時間」に変えるのではなく、「自ら学び、成長する機会」として最大限に活用してほしいという強い願いがあるからです。目標設定は、この成長の航海における羅針盤となり、皆さんの努力を裏切るものへと導きます。

「なぜ目標が必要なのか?」目標設定がもたらす多角的メリット  
 目標を設定することには、学業の成果を高めるだけでなく、皆さんの人間的な成長にも多岐にわたるメリットがあります。まず、目標は皆さんの学習意欲を向上させ、集中力を維持する上で不可欠な要素です。具体的な目標があれば、何を、どのように努力すれば良いかが明確になり、効率的な学習計画を立て、実行に移すことができるようになります。例えば、「テストで

良い点を取る」という漠然とした目標ではなく、「次の数学のテストで80点以上取るために、毎日30分問題集を解く」といった具体的な目標は、行動の方向性を明確にし、日々の努力に意味を与えます。  
 目標達成の経験は、皆さんの心に大きな変化をもたらします。目標を達成するたびに、「自分にもできる」という自己肯定感や自己効力感が高まり、新たな挑戦への自信へと繋がります。この「できた!」という感覚は、脳内でドーパミンというホルモンの分泌を活性化させ、さらなるモチベーション向上や学習能力の向上に寄与すると考えられています。本校が宿題を課さないのは、まさにこの内発的な動機付けを重視しているからです。生徒が「自分で決める」ことによって生まれるやる気は、外部からの強制によるものよりもはるかに強力で、学習の継続性を高めることが知られています。  
 また、目標設定は、皆さんの学習におけるメタ認知

能力、すなわち自分自身の学習プロセスを客観的に把握し、計画・実行・評価・改善する能力を育みます。目標達成に向けた計画立案と実行は、時間管理や優先順位付けといった自己管理能力を自然と養い、学習効率を向上させます。これにより、皆さんは「何を知らないのか」「どうすれば学べるのか」を自ら問い、最適な学習方法を見つづける力を身につけることができま

す。これは、生涯にわたる学習者としての基礎を築く上で極めて重要なことです。正式には7月21日(月)から長い夏季休業に入ります。今までの話を受けて、今年の夏休みは各自で目標をもって有意義な時間を過ごしてください。そして元気な姿で2学期の始業式に会いましょう。以上で私の話を終わります。  
 校長 滝澤清豪

もなく、快晴の喜多方・会津を満喫する3日間となりました。生徒たちは暑さにも負けず、元気に、実りある体験を積んで帰校いたしました。

### 2年生移動教室 福島県喜多方市

暑い日差しに恵まれたなか、7月9日(水)から11日(金)までの2泊3日、2年生の移動教室を無事に終えることができました。行程は予定どおり進み、今回初めて雨に降られること

1日目  
 学校を出発してから約3時間のバス移動の後、喜多方市へ到着。昼食は、4台に分かれたバスごとに、地元「喜多方ラーメン」を楽しむ時間が設けられ、生徒たちはそれぞれのグループで笑顔とともに味わいました。午後は、「選択制体験学習」に挑戦。英語街歩き、再生可能エネルギー見学、木工クラフト、登り窯の見学・体験、時絵制作、ピナツツ工場見学、赤べこ制作体験の7コースを設定し、生徒それぞれが興味に応じて選び、班単位で地域との交流や創作活動に励みました。その後、宿泊先の「山形屋」へ移動。入浴・夕食を済ませて、初日を終えました。

2日目  
 この日は朝食後、21の班に分かれて、各農家を訪問し農業体験を実施。バス乗車中から「楽しみ!」との声が聞こえていた生徒たちですが、実際に農作業に取り組むと、真剣な表情で一生懸命に汗を流していました。

3日目  
 最終日は会津若松市へ移動し、歴史ある「鶴ヶ城」を見学。大天守の威容に触れ、ガイドの解説を通して会津藩士の気概や歴史的背景に思いを馳せました。見学後は「鶴ヶ城会館」にて、伝統的な「わっぱ飯」を昼食に堪能し、最後のお土産購入タイムへ。各自、お家の方々や友人に選ぶお土産を真剣に選び、思い出とともに大切に持ち帰りました。

12時過ぎ、バスに乗り込み、学校へと帰路につきました。今回の移動教室では、何よりも生徒全員が健康・安全に過ごしたことが何よりの成果です。大きな怪我や発熱は無く、元気に帰着できたことに、改めて感謝の念を抱いております。  
 また、時間をしっかり守

り、班やコースの集合時間に遅れることなく行動できたのも、日常の学習や学校生活での「自立」と「責任」の姿勢が芽生えている証拠と感じています。  
 さらに、選択制体験学習では、各自が主体的に学びを選び、その中で集中力と探求心を発揮していました。農業体験を通しては、自然や食に対する理解を深め、地域の方々との交流からお礼や感謝の心を育むことができました。こうした経験は、昨年度の1年生宿泊学習を終えた直後よりも、さらに一段と成長した姿として表れていました。

### 保護者の皆様へ

この2年生の移動教室は、教室の枠を超えて教科書だけでは学べない体験と、協調・自立の大切さを身をもって学ぶ貴重な機会となりました。子どもたちは「やってみよう」と自ら体験を選び、「やりきった」と満足感で溢れ、思い出に残る移動教室であったと思います。改めて、移動教室にご理解と協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。  
 校長 滝澤清豪